

2020年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding&沖縄フィールドワーク

目的：世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める。日本の学生、留学生、青年が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論できる力を育む

対象：学生一般（大学生、大学院生、留学生など）

内容：4月より沖縄フィールドワーク事前学習を開始。5月3日～6日沖縄を訪問し、沖縄戦の歴史と在日米軍基地問題について体験学習を実施

募集：ホームページ、ブログやSNSでの告知、チラシ作成と掲示

■第9回CENA (Civil Society Education Network in Asia) 夏期学校(共催)

目的：CENA夏季学校はアジアの歴史を学び、各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合うプログラム

対象 学生一般（大学生、大学院生、留学生など）

内容：台湾にて開催予定。8団体と共催（恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国・聖公会大
学校、韓国・韓信大校、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、イ
ンドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA）。庭野平和財団に助成を申請中
昨年引き続き「国家暴力」をテーマに教授のレクチャーや学生のプレゼンテーショ
ンを行い、現地研修のため1日のフィールドワークを行う

5月23日～24日 事前学習のため福島訪問予定。その他、参加者事前ミーティングを
随時開催

7月24日～31日 CENA実施

9月～10月 事後学習及び報告書発行

募集：ホームページ、ブログやSNSでの告知、チラシ作成と掲示

■日中大学生による相互交流ワークショップ

目的：相互交流ワークショップを通じて、異なる文化や価値観を受容することができ、国際的視野が広がるといった参加者の成長、グローバル人材としての向上を図る

対象：現役大学生および大学院生(若手)

内容：①中国延辺大学「日本文化体験研修プログラム」(来日)

2020年7月12日～7月19日、早稲田奉仕園

日頃真剣に日本語を学んでいる大学生が実際に日本に来て、日本文化を体験し、ことば以外のもっと多くのことに触れる。勉強会、企業訪問、地域コミュニティへの見学、茶道や着付けなどを通じて、新たな刺激を得て自分自身を振り返り、国際的な視野を広げる

②国際交流ワークショップ in 中国延辺 (訪中)

2020年8月29日～9月5日、中国吉林省延辺朝鮮族自治州

中国の民族大学である延辺大学を訪問し、現地の大学生とワークショップや発表会をおこなう。講演、ホームビジット、ゲストスピーカーとして授業参加等を通じて、現地の文化的背景や歴史、習慣等への理解も深める。グローバル人材として不可欠な国際的な視野を獲得し、とくにアジアの多様性に目を向ける人材育成をおこなう

募集：中国側は延辺大学の掲示板や学内専用メールを通して募集する。日本側は奉仕園在住の大学生と近隣学舎の大学生を主な対象に、掲示板や定例会等を通して募集する

■韓国ハンバット大学日本インターン研修

目的：日本語学科で学ぶ学生の日本の企業・団体、社会、文化に対する理解を深め、将来日本関連の就職を考える学生のキャリア形成の一助とする。経験することを通じて日本企業・団体に活躍できる人材を育てる

対象：韓国ハンバット大学日本語学科学生5名

内容：フルタイムインターン(現場実習)として単位を修得する。都内及び近郊の企業、NGO、公益団体等でインターンを実施、奉仕園は受入れの窓口となる。奉仕園施設に宿

泊し、友愛舎生など日本の学生との交流もはかる

2021年1月～2月、4週間

募集：韓国ハンバット大学日本語学科内で選考

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的：留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進する。日本の大学生と留学生が交流できる場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。また日本語ボランティアの会に参加する在日外国人の方々にも歌舞伎鑑賞などを通じて、文化体験の機会を提供する

対象：国際学舎に居住する留学生および早稲田大学留学生、大学生一般、日本語ボランティアの会

内容：7月11日 隅田川花火大会鑑賞(日本基督教団東駒形教会にて)

7月26日 歌舞伎鑑賞 Discover KABUKI(国立劇場にて、日本語ボランティアの会学習者と合同)

1月 餅つき(3号館1階ロビーにて、早稲田教会と合同)

カフェを月2回(3号館1階ロビーにて、原則第1、第3金曜日夕方)開催し、季節ごとにイベント(茶道、七夕、生け花、書き初め、豆まき、ひな祭りなど)も行い、日本と外国人留学生が交流できる機会、ボランティアスタッフへ留学生活の悩み相談などができる機会を作る

募集：ホームページ、ブログやSNSでの告知、チラシ作成と掲示、居住者へのメール送信

■市民参加で作るくらしのしくみ～韓国の人々に学ぶスタディーツアー2020

目的：民主的な動きが社会を少しずつ変えていくなか、韓国の人々はさまざまな課題にどのように向き合い、どのような社会を目指そうとしているのか？ソウル周辺のいくつかの現場を訪ねて、取り組んでいる課題や実践の状況を学び、私たちの暮らす日本に大切なヒントを探る

対象：一般、学生

内容：原発/環境問題をテーマとして、大学での講演や運動団体との交流、施設訪問などを

おこなう

定員 15 名程度

6 月末頃 STUDYHALL にて事前学習

10 月または 11 月 オリエンテーション及び 3 泊 4 日で韓国訪問

協力：東京 YMC A、日本 YWC A、在日韓国 YMC A (予定)

募集：ホームページ、口コミ、Facebook、イベントサイトに投稿など

■ STUDY HALL !

目的：STUDY HALL は、主にアメリカで使われる「学習室」の意。講演会、映画上映会、展示、料理教室、フィールドワークなど、単発のイベントを通して、「近いこと、遠いこと、近くて遠いことを学ぼう」ということを参加者に感じてもらう。おもちゃ箱のように、雑多であることを特徴とするプログラム

対象：一般、学生

内容：講演会、映画上映会、展示、料理教室、フィールドワーク、ワークショップ、コンサートなどを不定期に開催。共催や持ち込み企画なども視野に、他団体との連携プログラムも取り入れる

3~4 回の開催を予定

企画委員 田中洋二郎氏 (国際交流基金)

募集 ホームページ、Facebook、関連団体

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■ 日本語ボランティアの会

目的：「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。また、学習者には課外授業、学習者発表会、新年会、歌舞伎鑑賞会などの活動を通し、ボランティアには研修会、懇親会を通して日本語学習以外でも豊かな交流を図る。

対象：ボランティア講師は早稲田奉仕園日本語教師養成講座修了者、または同等の学習歴の

ある者。学習者は日本語学習を必要としている 10 歳以上の方

内容：「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外授業、学習者発表会、新年会、歌舞伎鑑賞会などの活動を通し、ボランティアには研修会、懇親会を通して日本語学習以外でも豊かな交流を図る。会報『こんにちは日本語』を年 2 回発行

開講日 水曜日 3 クラス、金曜日 1 クラス

募集：ホームページ、新宿区の日本語教室案内(チラシなど)、口コミ

■災害被災者支援ボランティア活動

目的：災害発生時の被災者支援を実施、被災者の長期的課題を理解する

対象：大学生、院生、留学生

内容：①映画「風の電話」上映会

東日本大震災「風の電話」をテーマにした映画の上映実行委員会を立ち上げ、2021 年 3 月にスコットホールで上映会を開催。実行委員の構成は早大 Y M C A、恵泉女学園大学を予定

②緊急支援活動

災害発生時、信頼できる受入先がある場合に初期のボランティア活動に参加し、被災地や被災者の状況を知り、共に生きる社会を実現していく。防災や減災の意識を醸成し、自然災害に対してどのように向き合っていくか、自助と共助の精神を養う

募集：ホームページ、ブログや SNS での告知、居住者への案内

■野宿者支援給食活動(共催)

目的：野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通して、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる

対象：大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容：月 2 回(原則第 1、第 3 日曜日)午後、奉仕園 1 号館 2 階ロビーと日本福音ルーテル本郷教会/本郷学生センターで有志と協働し、150 人分の食事、保存食、支援物資を準備、渋谷区役所近くで配食。偶数月にはボランティアの弁護士や司法書士による相

談会をおこなう

協力：保存食の提供はNPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校などからいただく

募集：ボランティアはホームページ、ブログやSNSでの告知、居住者への案内で募集

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア講座

目的：ことばをはじめとしてアジアの文化を紹介する場を提供し、相互理解を深める。

対象：一般、学生

内容：土曜集中講座 ヒンディー語、ベンガル語、ベトナム語の初心者向け入門講座として開講する。初心者がはじめて言語に触れ、基本的な発音、会話文、文法を理解することができる機会とする

前期 6月6日～7月4日 5日間、後期 11月予定

イベント 秋季に土曜集中講座の後期開講の広報も兼ねスコットホールで開催する予定。また特別講座としてギャラリー展示など

募集：チラシ、SNS

■日本語ボランティア養成講座

目的：年々外国人が増えてきている中、それぞれの地域に居住する外国人が暮らし易いように、また、日本語を介してコミュニケーションができるように、日本語を外国人にボランティアで教えるノウハウを学ぶ

対象：一般、学生

内容：外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。初級Ⅰ終了後からボランティア活動が開始できるようになる

初級Ⅰ 4月～7月、初級Ⅱ 10月～12月、中・上級 2月

講師：数土容子(武蔵大学講師)

募集：チラシ、各自治体の国際交流協会やボランティアセンター、FACEBOOK、OBOGメー

ル、日本語ボランティアの会

■Let' s 朗読

目的：朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、普段の生活に張りを与える。また朗読ボランティアもできるように技術を磨く

対象：一般、学生

内容：発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。詩や物語の世界で感性を磨き、小さな作品から朗読に取りくんで発表会で発表
前期・後期の各8回

講師 飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

募集：チラシ、FACEBOOK など

■スコットホールでゴスペルを歌おう

目的：声をしっかり出し歌を歌うことにより元気になる。メンバーとのコーラスワークでハーモニーを楽しみつつ、習った歌をプログラムに組み込んで地域やデイケアなどの施設でボランティアとして披露する

対象：一般、学生

内容：スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。
レッスン シーズン1~4各7回

4月には新宿区のレガスマつり出演、9月、12月には介護老人ホームなどでのボランティアプログラム、クリスマス発表会も12月に実施予定。

講師 藤子(プロシンガー)

募集：チラシ、FACEBOOK、フリーペーパーに広告、新メンバー獲得のため、シーズン1中の1回、無料体験レッスンを提供

■パイプオルガン講習

目的：スコットホールパイプオルガンを活用し、教会礼拝奏楽者、パイプオルガン愛好者へレッスン及び発表の場の提供を通じてキリスト教音楽・オルガン音楽の普及をはかる

対象：アマチュア、プロを問わず、礼拝奏楽者、オルガン愛好者、音楽大学オルガン専攻受験生及び修了生など

内容：①パイプオルガン・アカデミー

各受講生の目的、希望に合わせたレッスン(1 レッスン 45 分)を個人指導で行う

②パイプオルガン入門講座

パイプオルガンに初めて触れる方向けの 4~5 名クラスレッスン

月 1 回全 5 回を予定

講師 水野均(早稲田教会主任オルガニスト)

協力：早稲田教会

募集：SNS、各教会及び礼拝音楽セミナー、キリスト新聞、クリスチャン新聞、雑誌広告

■聖書講座(共催)

目的：聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる

対象：一般、学生

内容：①新しい聖書の学び『マルコ福音書をジックリ読む(Part3)』(共催)

2018 年度からの継続で「マルコ福音書」5 章 21 節以下を丁寧に読み進める。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、障碍の神学などからの新しい読み方も紹介。

毎月第 2 火曜日全 10 回

講師 山口里子(聖書学者)

②上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう—この時代の中で、聖書からのメッセージを読み解く—第 2 期

『創世記から読み解く現代～神、自然、人間をキーワードに』

毎月第 4 水曜日全 6 回

講師 上林順一郎(日本基督教団引退牧師、元早稲田教会牧師)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■記念事業

ベニンホフ記念館(5 号館)竣工・セミナーハウス開設 50 周年(2020 年 4 月)及びスコットホー

ル献堂 100 周年(2022 年 1 月)を迎えるにあたり、記念事業と募金を行う。2020 年度は下記の項目を実施する。

①「渡辺禎雄型染版画 齋藤治子コレクション」展

早稲田奉仕園へ寄贈いただいた渡辺禎雄作品の展覧会。2020 年 1 月の第 1 回に続き開催。第 2 回は 6 月、第 3 回は 10 月を予定

②パイプオルガンコンサート(共催)

秋季にスコットホールのパイプオルガンを用いたコンサートを早稲田教会と共催にて開催

③杉原千畝と奉仕園-1920~1930 年代に奉仕園に係わった学生・留学生たち(仮題)

創立から 1930 年代の早稲田奉仕園に係わった学生・留学生の活動を振り返り、奉仕園の社会的役割、朝鮮半島をはじめアジアとの関係に光を当てる。杉原千畝、宋継白(留学生・2.8 独立宣言署名者)、増田甲子七(戦後閣僚を歴任)など信交協会のメンバーやスコットホールを会場にした留学生たちの活動と奉仕園の係わりを検証する。10 月 25 日にスコットホールにてシンポジウムを開催予定

④スコットホールの歴史編纂

スコットホール建設の経緯、設計図、献堂から現在至るまでの建物の変遷、スコットホールでなされた諸活動を、図版資料を中心に編纂(2021 年 12 月発行予定)

(4) 学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

目的：イエス・キリストの奉仕の精神に基づき、広く国際的視野に立った学びと交わりを通しての人間形成の場を提供し、充実した学生生活の確立に向けた支援をおこなう。

対象：学部大学生

内容：舎生数 4 年生 3 名、3 年生 3 名、2 年生 3 名に加え新 1 年生 4 名を募集

活動 朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の 7 時から 7 時 30 分まで。前期はヤコブの手紙、フィリピの信徒への手紙、ヨハネの手紙 1 から 3、後期は創世記を講読するほか学生発表等をおこなう

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う

年間活動 新入生を含めたオリエンテーションを1泊にて実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。入舎式・卒舎式をはじめ、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこないながら自己研鑽をする。教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをしていく

協力 奥山京音伝道師(早稲田教会)にカウンセラーを依頼、古賀博牧師、大矢直人牧師、中澤重光宣教師に聖書講読のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただく

募集：入舎募集についてホームページ、ブログやSNSでの告知、パンフレット作成と全国のキリスト教主義高等学校に案内発送

■キリスト教学生寮懇談会

目的：キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び合い、寮運営の充実をはかる

対象：都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在9団体)

内容：懇談会をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

■ゲストハウス

目的：関東近郊の大学に在籍する外国人留学生、が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象：関東近郊の大学に在籍する学部、大学院の外国人留学生

内容：1号館2階201～207号室計7部屋を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める。また奉仕園プログラムへの積極的な参加、協力を促す

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

目的：早稲田大学の外国人留学生、研究員が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する。

対象：早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員

内容：5号館2階～4階、3号館2階～12階、1号館3階301～304号室、4階404～415号室計152室を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める

2月上旬、8月上旬退寮、3月下旬、9月上旬入寮

入寮オリエンテーション実施(3月、9月)

避難訓練実施(3月、9月の入寮時)

夏期に5号館2階～4階の第2国際学舎の設備・内装を中心に大規模修繕を実施

■健康相談室の運営

目的：寮内に住んでいる学生及び研究員が心身とも健やかに生活できるよう健康面でサポートをする

対象：早稲田奉仕園寮生

内容：近隣の病院の紹介、感染症の予防、栄養指導などをおこなう。また既往歴のある居住者には面接をし、現在の病状を把握し通常の生活ができるようにサポートする。

開室日 隔週月曜日 14時～18時 看護師在室

月1回水曜日 11時～15時 臨床心理士在室(2020年7月まで)

第3火曜日 16時～18時 精神科医在室

(2、3、8月は医師休み、看護師、臨床心理士は月1回)

■FRIDAY・NIGHT&奉仕園クリスマス会

目的：留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象：早稲田奉仕園寮生

内容：Friday Night 4月及び9月入寮時に実施するパーティー。9月はJapanese Nightと

して友愛学舎がホストを務める

奉仕園クリスマス会 12月12日に開催、寮生によるアトラクションや静かなひとときを中心に交流パーティーを実施

■留学生スキー研修@万座温泉

目的：硫黄濃度日本一の万座温泉を訪れ、スキー・スノーボードを体験し、温泉につかりながら疲れを癒す。留学生と友愛学舎・信愛学舎などの日本人学生と合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

対象：留学生、友愛学舎及び近隣学舎の日本人学生、20名程度

期間：1月成人の日前後1泊2日

内容：スキー・スノーボード体験、温泉体験、交流会など

■ホームビジット

目的：日本人家庭を訪問し、一般的な日本人の暮らしを体験する。ホストファミリーとして迎えていただくご家庭には、異文化、異世代の若者と交流することにより、新しい出会いを楽しんでいただく

対象：早稲田奉仕園寮留学生

内容：ホストファミリーとして留学生をご自宅に招いてもらい、食事を一緒にし、近所の公園、スーパーマーケットなどを案内。留学生の関心に合わせて、一緒に食事を作ったり、お茶、活け花などのプログラムやおしゃべりを楽しんでもらう。6月、11月に実施

協力：早稲田奉仕園OB OG、早稲田教会、日本語ボランティアの会、稲門会ほか

■Cooking Exchange Program

目的：各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象：早稲田奉仕園寮生

内容：各国の料理を共に作り、共に食べる。6月、10月に開催予定

■第5回留学生インスタグラム写真展

目的：外国人留学生によるユニークな視点で撮影された写真を展示することで、日本や自国について多様な視点から新しい一面が発見され、相互理解を深め、交流促進に役立つきっかけにする

対象：日本に住んでいる海外からの留学生

内容：応募期間：4月1日～5月15日。SNS インスタグラムでテーマに沿った写真を投稿してもらおう。受賞作品を写真家の北田英治氏と早稲田奉仕園で選考し表彰式を6月に実施する

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館万座温泉ホテル

募集：ホームページ、ブログやSNSでの告知、居住者へのメール、繋がりのある日本語学校や大学の掲示板に掲示

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

目的：収益事業として財団運営を財政的に支える。施設の利用提供による早稲田教会及び東京平和教会の教会活動の支援

対象：早稲田教会、東京平和教会、近隣企業、団体、居住者

内容：礼拝堂、教会事務所、宣教師館・牧師館としての施設貸出し、月極駐車場及びNGO事務所の賃貸

近隣にマンションの建設が相次ぎ、月極駐車場の需要が高まっている。区画整理をして最大9台分の新規賃貸を開始する

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■セミナーハウス施設の貸与

目的：当財団の収益部門を担い、財団の運営を円滑にするため一定の収益を確保する。歴史的建造物のスコットホールの動態保存、利用者の文化活動、施設修繕等を通じて奉仕園の認知および利用の拡大を目指す

対象：一般、法人、学生、非営利組織ほか

内容：年末年始・大型連休を除く毎日営業。3つのホール、10の会議室及びギャラリーを運営

募集 ホームページ、予約サイト、SNS、営業活動

■セミナーハウスプログラム

目的：文化的イベントの主催、公益活動実施団体への協賛を通じて、市民活動の活性化をはかる。また、スコットホールの文化財としての価値を高める

対象：市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容：早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示、チャリティー古本市年2回（収益は公益団体へ寄付）、東京都文化財ウィークに参加しスコットホール公開ほか

3. 事業共通業務

■業務管理システム更新

法人内オンラインシステムの改良を実施。寮生やセミナーハウス利用者の利便性向上、事務作業及び情報共有の効率化を進める

■新規事業の検討

セミナーハウス事業をはじめ既存事業の見直しが必要な状況にある。奉仕園の使命に沿いつつ、これまで築いてきたノウハウ、人脈、施設等を最大限活用して社会のニーズにこたえる新たな事業・既存事業の発展形を検討する

■広告・宣伝

フェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。また、効果的な広告や宣伝方法を模索し、奉仕園の情報発信力を高める

4. 法人総務

■広報

奉仕園通信の発行は年2回を予定

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、臨時評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する

■監査

監事監査(5月、11月)、監査法人監査(5月、11月)、監査法人実査(4月)

■早稲田正午礼拝

毎月第1、第3水曜日に近隣教会、団体有志による礼拝をおこなう。イースター、クリスマス時期はパイプオルガン演奏・聖書朗読による礼拝形式を試みる

■キリスト教施設長会

施設長会議：2021年1月に関西セミナーハウスを会場に開催予定

5. 資金調達及び設備投資

①資金調達の見込みについて

5号館3階4階学生寮、1階事務室等改修工事のため国際友愛学舎改修資産2400万円を充当するが、現預金の減少のため工事費相当額2700万円を銀行より借り入れる

②設備投資の見込みについて

(固定資産取得明細)

建物建設支出	5号館3階4階改修工事(公益)	5,300,000
	5号館1階事務室等改装工事(公益・収益2・法人)	5,800,000
構築物	5号館3階4階改修工事(公益)	15,900,000
	3号館受電設備機器更新(公益)	1,200,000
	スコットホール裏土留め(収益1)	100,000
什器備品	国際学舎IHヒーター交換(公益)	880,000
	合計	29,180,000